

三 從事スベキ總動員業務ヲ行フ管理工場又ハ指定工場ニ付徵用ヲ變更セラレタルトキ

第二十九條 扶助ヲ拒マレタル者又ハ扶助ヲ廢止若ハ停止セラレタル者ハ六十日以内ニ厚生大臣ニ對シ更ニ審査ヲ出願スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル出願ハ文書ヲ以テシ處分ヲ爲シタル地方長官ヲ經由シテ之ヲ爲スコトヲ要ス
厚生大臣ハ審査ノ上必要ト認ムルトキハ地方長官ヲシテ扶助ヲ爲サシメ又ハ扶助ノ廢止若ハ停止ノ處分ヲ取消サシムルコトヲ得

第三十條 管理工場又ハ指定工場ノ事業主ハ被徵用者ニシテ當該管理工場又ハ指定工場ニ使用セラレ若ハ使用セラレタルモノ又ハ其ノ家族若ハ遺族ニ對シ爲サレタル扶助ニ要シタル費用ヲ國庫ニ納入スベシ
被徵用者徵用ヲ解除セラレ又ハ死亡シタル場合ニ於テ事業主ガ本人又ハ遺族ニ對シ他ノ法令ノ規定ニ依ル扶助又ハ之ニ準ズベキ程度ノ出捐ヲ爲シタルトキハ厚生大臣ハ前項ノ費用ノ納入ヲ免除スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十四年七月八日勅令第四百五十一號國民徵用令
抄録

第十九條ノ三 被徵用者徵用セラレタルニ因リ其ノ家族ト世帯ヲ異ニスルニ至リタル場合其ノ他特別ノ事情アル場合又ハ被徵用者故意若ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲徵用ヲ解除セラレタル場合ニ於テ本人又ハ家族ガ生活スルコト困難ナルトキハ命令ノ定

ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得

被徵用者徵用セラレ總動員業務ニ從事中故意又ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル場合ニ於テ遺族ガ生活スルコト困難ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得
前二項ノ家族又ハ遺族ノ範圍及扶助ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

醫療關係者徵用令並ニ同令施行規則

の公布

國家總動員法に基ク國民徵用令の一部をなす醫療關係者徵用令並ニ同令施行規則は昭和十六年十二月十六日付官報を以て公布を見たが、之を掲ぐれば以下の如くである。

醫療關係者徵用令 (昭和十六年十二月十五日勅令第四百三十一號)

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號)ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ) 第四條ノ規定ニ基ク醫師、齒科醫師、藥劑師及看護婦(以下醫療關係者ト總稱ス)ノ徵用並ニ國家總動員法第六條ノ規定ニ基ク被徵用者ノ使用又ハ給料其ノ他ノ從業條件ニ關スル命令ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ニ於テ醫師トハ醫師法ニ依リ厚生大臣ノ免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師トハ齒科醫師法ニ依リ厚生大臣ノ免許ヲ受ケタル齒科醫師、藥劑師トハ藥劑師法ニ依リ厚生大臣ノ免許ヲ受ケタル藥劑師ヲ謂フ但シ朝鮮ニ在リテハ各朝鮮總督ノ免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師及藥劑師ヲ、臺灣ニ在リテハ各臺灣

總督ノ免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師及藥劑師ヲ、樺太ニ在リテハ各樺太廳長官ノ免許又ハ假免許ヲ受ケタル醫師、齒科醫師及藥劑師ヲ、南洋羣島ニ在リテハ各南洋廳長官ノ指定スル者ヲ含ム

本令ニ於テ看護婦トハ命令ヲ以テ定ムル看護婦ヲ謂フ
第三條 徵用ハ特別ノ事由アル場合ノ外募集ノ方法ニ依リ所要ノ人員ヲ得ラザル場合ニ限り之ヲ行フモノトス

第四條 本令ニ依リ徵用スル者ハ左ノ各號ノ一ニ掲グル業務ニ從事セシムルモノトス

一 國ノ行フ軍事上又ハ軍人援護上必要ナル衛生ニ關スル總動員業務

二 國、地方公共團體又ハ防空法第三條第一項ノ規定ニ依ル防空計畫ノ設定者(以下防空計畫設定者ト稱ス)ノ行フ防空上必要ナル衛生ニ關スル總動員業務

三 國又ハ地方公共團體ノ行フ衛生ニ關スル總動員業務ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ

四 工場事業場管理令ニ依リ政府ノ管理スル工場事業場其ノ他ノ施設及厚生大臣ノ指定スル工場事業場其ノ他ノ施設(以下工場事業場ト總稱ス)ニ於ケル衛生ニ關スル總動員業務

前項第三號又ハ第四號ニ掲グル業務ニ從事セシムル爲醫療關係者ヲ徵用スルハ國民衛生上特ニ必要アル場合ニ限ル

第五條 徵用及徵用ノ解除ハ厚生大臣ノ命令ニ依リ之ヲ實施ス

第六條 總動員業務ヲ行フ官衙(陸海軍ノ部隊及學校ヲ含ム以下同ジ)ノ所管大臣、地方公共團體ノ長、

防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主徵用ニ依ル醫療關係者ノ配置ヲ必要トスルトキハ厚生大臣ニ之ヲ請求又ハ申請スベシ

前項ノ規定ニ依リ地方公共團體ノ長、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主ノ爲ス申請ハ命令ヲ以テ定ムル地方長官ヲ經由スベシ

第七條 厚生大臣前條ノ規定ニ依ル請求又ハ申請アリタル場合ニ於テ徵用ノ必要アリト認ムルトキハ徵用命令ヲ發シ徵用セラルベキ者ノ就業ノ場所(二以上ノ就業ノ場所ヲ有スル者ニ付テハ主タル就業ノ場所トス以下同ジ)ノ所在地(就業ノ場所一定セザル者就業ノ場所ヲ有セザル者又ハ船舶内ニ於テ就業スル常況ニ在ル者ニ付テハ命令ヲ以テ定ムル地)ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通達スベシ

徵用セラルベキ者其ノ就業ノ場所ニ異動ヲ生ジ醫療關係者職業能力申告令第四條第二項又ハ第八條ノ規定ニ依リ申告ヲ爲サザル場合ニ於テ前後ノ就業ノ場所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスルトキハ厚生大臣ハ前項ノ規定ニ拘ラズ前ノ就業ノ場所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ徵用命令ヲ通達スベシ

第八條 徵用令書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ但軍機保護上特ニ必要アルトキハ第二號又ハ第三號ニ掲グル事項ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトヲ得

- 一 徵用セラルベキ者ノ氏名、出生ノ年月日、住所及就業ノ場所
- 二 従事スベキ總動員業務ヲ行フ官衙、地方公共團體、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ名稱及所在地

三 従事スベキ總動員業務ノ内容及場所

四 徵用ノ期間

五 出頭スベキ日時及場所

六 其ノ他必要ト認ムル事項

第九條 地方長官ハ徵用セラルベキ者ノ性別、年齢、身體ノ状態、就業ノ態様、診療能力、住所及就業ノ場所、家庭ノ状況、希望竝ニ其ノ者ノ徵用ガ國民醫療ニ及ボス影響等ヲ斟酌シ徵用ノ適否竝ニ従事スベキ總動員業務ノ内容及場所ヲ決定シ徵用令書ヲ發スベシ

第十條 地方長官ハ徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アルトキハ徵用セラルベキ者ニ出頭ヲ求ムルコトヲ得

第十一條 徵用令書ノ交付ヲ受ケタル者疾病其ノ他避クベカラザル事故ニ因リ指定ノ日時及場所ニ出頭スルコト能ハザル場合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官ニ其ノ旨ヲ届出ツベシ

前項ノ規定ニ依リ届出アリタル場合ニ於テ地方長官必要アリト認ムルトキハ出頭ノ日時若ハ場所ヲ變更シ又ハ其ノ者徵用ニ適セズト認ムルトキハ徵用ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ出頭變更令書又ハ徵用取消令書ヲ發シ其ノ者ニ之ヲ交付スベシ

第十二條 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣、地方公共團體ノ長、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主被徵用者ヲ使用スル官衙、被徵用者ノ總動員業務ニ従事スル場所又ハ徵用ノ期間ニ付變更ヲ必要トスルトキハ厚生大臣ニ之ヲ請求又ハ申請スベシ

第六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條 厚生大臣前條ノ規定ニ依リ請求又ハ申請アリタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ被徵用者ヲ使用スル官衙、被徵用者ノ總動員業務ニ従事スル場所又ハ徵用ノ期間ヲ變更スルコトヲ得

第十四條 被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣、地方公共團體ノ長、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主被徵用者ガ疾病其ノ他ノ事由ニ因リ總動員業務ニ従事スルニ適セズト認ムルトキ又ハ其ノ者ヲシテ總動員業務ニ従事セシムル必要ナキニ至リタルトキハ厚生大臣ニ徵用ノ解除ヲ請求又ハ申請スベシ

被徵用者疾病其ノ他ノ事由ニ因リ總動員業務ニ従事シ難キ場合ニ於テハ官衙ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該官衙ノ所管大臣ニ、地方公共團體、防空計畫設定者又ハ工場事業場ニ使用セラルル者ニ在リテハ厚生大臣ニ其ノ旨ヲ申出ヅルコトヲ得

第十五條 厚生大臣前條第一項ノ規定ニ依リ請求又ハ申請アリタル場合ニ於テハ徵用ヲ解除スルコトヲ得

厚生大臣必要アリト認ムルトキハ前條第一項ノ規定ニ依リ請求又ハ申請ナキ場合ト雖モ徵用ヲ解除スルコトヲ得

厚生大臣前項ノ規定ニ依リ官衙ニ使用セラルル者ノ徵用ヲ解除セントスルトキハ當該官衙ノ所管大臣ニ協議スベシ

第十六條 厚生大臣徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サントスルトキハ徵用變更命令又ハ徵用解除命令ヲ發シ命令ノ定ムル所ニ依リ被徵用者ノ就業ノ場所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官、徵用令書ヲ發シタル地方長官又ハ第八條第五號ノ出頭ノ場所ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通達スベシ

地方長官徵用變更命令又ハ徵用解除命令ノ通達ヲ受

ケタルトキハ直ニ徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ被徵用者ニ之ヲ交付スベシ

被徵用者本令施行地外ノ場所ニ於テ就業スル場合ニ於テ徵用ノ變更又ハ解除ヲ爲サントスルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ厚生大臣徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ發シ被徵用者ニ之ヲ交付スベシ

第十七條 被徵用者總動員業務ニ從事スル場合ニ於テハ官衙ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該官衙ノ長ノ指揮ヲ受ケ地方公共團體ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該地方公共團體ノ長、防空計畫設定者ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該防空計畫設定者、工場事業場ニ使用セラルル者ニ在リテハ當該工場事業場ノ事業主ノ指示ニ從フベシ

第十八條 被徵用者ニ對スル給與ハ其ノ者ノ經歷、從事スル業務及場所等ニ應ジ且從前ノ給與其ノ他之ニ準ズベキ收入ヲ斟酌シテ被徵用者ヲ使用スル官衙ノ長、地方公共團體ノ長、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主之ヲ支給スルモノトス

被徵用者ニ對スル給與ニ關シ必要ナル事項ハ官衙ニ使用セラルル者ニ關シテハ當該官衙ノ所管大臣厚生大臣ニ協議シテ之ヲ定メ地方公共團體、防空計畫設定者又ハ工場事業場ニ使用セラルル者ニ關シテハ當該地方公共團體ノ長、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主厚生大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ定ムベシ

第十九條 徵用セラルベキ者第十條ノ規定ニ依リ出頭スル場合ノ旅費ハ地方長官之ヲ支給ス

地方公共團體、防空計畫設定者ノ事業若ハ施設又ハ工場事業場ニ配置セラルル爲第十條ノ規定ニ依リ出頭シタル者ニ對シ前項ノ規定ニ依リ支給シタル旅費

ノ額ハ當該地方公共團體、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主國庫ニ之ヲ納入スベシ

被徵用者徵用令書ノ交付ヲ受ケ指定ノ場所ニ出頭スル場合又ハ徵用ヲ解除セラレテ歸郷スル場合ノ旅費ハ被徵用者ヲ使用スル官衙ノ長、地方公共團體ノ長、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主之ヲ支給スルモノトス

第一項及前項ノ場合ニ於テ前金拂ヲ爲スニ非ザレバ出頭スルコト能ハザル者ノ旅費ハ其ノ者ノ居住地ノ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ一時繰替支辨スベシ

徵用セラルベキ者第十條ノ規定ニ依リ出頭スル場合ノ旅費及其ノ一時繰替支辨ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

被徵用者徵用令書ノ交付ヲ受ケ指定ノ場所ニ出頭スル場合ノ旅費及其ノ一時繰替支辨並ニ徵用ヲ解除セラレ歸郷スル場合ノ旅費ニ關シ必要ナル事項ハ官衙ニ使用セラルル者ニ關シテハ當該官衙ノ所管大臣厚生大臣ニ協議シテ之ヲ定メ地方公共團體、防空計畫設定者及工場事業場ニ使用セラルル者ニ關シテハ厚生大臣之ヲ定ム

第二十條 厚生大臣必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第六條ノ規定ニ基キ被徵用者ヲ使用スル地方公共團體ノ長、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主ニ對シ被徵用者ノ使用又ハ給料其ノ他ノ從業條件ニ關シ命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 被徵用者徵用セラレタルニ因リ其ノ家族ト世帯ヲ異ニスルニ至リタル場合其ノ他特別ノ事情アル場合又ハ被徵用者故意若ハ重大ナル過失ニ因ル

ニ非ズシテ業務上傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之ガ爲徵用ヲ解除セラレタル場合ニ於テ本人又ハ家族ガ生活スルコト困難ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得

被徵用者徵用セラレ總動員業務ニ從事中故意又ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ズシテ業務上傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲死亡シタル場合ニ於テ遺族ガ生活スルコト困難ナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ニ對シ扶助ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ家族又ハ遺族ノ範圍及扶助ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 前條ノ規定ニ依リ扶助ガ被徵用者ニシテ工場事業場ニ使用セラレ若ハ使用セラレタル者又ハ其ノ家族若ハ遺族ニ對シ爲サレタルモノナルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該工場事業場ノ事業主ヲシテ扶助ニ要シタル費用ヲ國庫ニ納入セシムルコトヲ得

第二十三條 厚生大臣又ハ地方長官ハ命令ノ定ムル所ニ依リ徵用ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基ク報告ヲ徵スルコトヲ得

厚生大臣又ハ地方長官徵用ニ關シ必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ當該官吏ヲシテ被徵用者ノ從事スル場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ヲシテ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第二十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ徵用セズ

一 陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ(未ダ入營セザル者ヲ除ク)及召集中ノモノ(召集中ノ身分取扱ヲ

受クル者ヲ含ム)

二 陸海軍學生生徒

三 陸海軍軍屬(被徵用者ニシテ之ニ該當スルニ至リタルモノヲ除ク)

四 法令ニ依リ拘禁中ノ者

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ特別ノ必要アル場合ヲ除クノ外之ヲ徵用セズ

一 年齢六十一年以上ノ者

二 餘人ヲ以テ代フベカラザル職ニ在ル官吏、待遇官吏又ハ公吏

三 帝國議會ノ議員

四 總動員業務ニ從事スル者ニシテ餘人ヲ以テ代フベカラザルモノ

第二十六條 厚生大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ警察署長ヲシテ徵用ニ關スル事務ノ一部ヲ分掌セシメ又ハ市町村長(東京市、京都市、大阪市、名古屋市、横浜市及神戸市ニ在リテハ區長)又ハ之ニ準ズベキモノノ前項ノ規定ニ依リ徵用ニ關スル事務ヲ執行スル爲要スル費用ハ市町村又ハ之ニ準ズベキモノニ於テ一時繰替支辨スベシ

前項ノ費用及一時繰替支辨ニ關シ必要ナル事項ハ厚生大臣之ヲ定ム

第二十七條 厚生大臣ハ本令ノ施行ニ關スル重要事項ニ付内閣總理大臣ニ協議スベシ

第二十八條 本令中地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ藥劑師又ハ看護婦ニ關シテハ警視總監トス

第二十九條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ總動員業務ヲ行フ官衙(陸海軍ノ部隊及學校ヲ含ム以下同ジ)ノ所管大臣

被徵用者ヲ使用スル官衙ノ所管大臣又ハ當該官衙ノ所管大臣トアルハ官衙ノ所管大臣ガ陸軍大臣又ハ海軍大臣タル場合ヲ除クノ外朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシテ市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トシ警察署長トアルハ臺灣ニ在リテハ郡守、支廳長又ハ警察署長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トシ市町村長トアルハ朝鮮ニ在リテハ府尹又ハ邑面長、臺灣ニ在リテハ市街庄長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トス

第三十條 本令ニ規定スルモノノ外徵用ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十三年 四月一日公布 法律第五十五號國家總動員法抄錄

第四條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民ヲ徵用シテ總動員業務ニ從事セシムルコトヲ得但シ兵役法ノ適用ヲ妨ゲズ

第六條 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ從業者ノ使用、雇入若ハ解雇、就職、從業者ハ退職又ハ賃金、給料其ノ他ノ從業條件ニ付必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

昭和十三年 五月四日公布 勅令第三百十七號 南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル條件ナリ

醫療關係者徵用令施行規則

(昭和十六年十一月十六日 厚生省令第五十九號)

第一條 醫療關係者徵用令(以下令ト稱ス)

第二條 第二項ノ看護婦ハ大正四年內務省令第九號看護婦規則ニ依リ看護婦(明治四十三年勅令第二百二十八號日本赤十字社令ニ依リ日本赤十字社救護員タル者ヲ除ク)タルトス

第二條 令第四條第一項第三號ノ命令ヲ以テ定ムル國又ハ地方公共團體ノ行フ衛生ニ關スル業務ハ急性又ハ慢性ノ傳染病ノ豫防若ハ治療上必要ナル業務又ハ國民醫療上著シキ支障アリト認めラレル地域ニ於ケル診療ニ關スル業務トス

第三條 厚生大臣ノ發スル徵用命令、徵用變更命令又ハ徵用解除命令ハ文書ニ依リ之ヲ通達ス但シ緊急ニシテ之ニ依リ難キ場合ハ電信(至急官報)ニ依ル

第四條 令第六條第二項(令第十二條第二項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)ノ地方長官ハ地方公共團體ノ長ノ爲ス申請ニ在リテハ當該地方公共團體ノ區

域ヲ管轄スル地方長官トシ防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主ノ爲ス申請ニ在リテハ當該防空計畫ノ設定アル事業ノ事業場若ハ施設又ハ工場事業場ノ所在地ヲ管轄スル地方長官トス

第五條 令第七條第一項ノ地ハ徵用セラルベキ者ノ住所トス但シ其ノ者ガ醫師法施行規則第七條、齒科醫師法施行規則第七條、藥劑師法施行規則第七條又ハ看護婦規則第七條ノ届出ヲ爲サザル場合ニ於テ前後ノ住所ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスルトキハ前ノ住所トス

第六條 地方長官徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アリト認ムルトキハ警察署長ヲシテ徵用セラルベキ者ニ出頭ヲ求メシムルコトヲ得

第七條 地方長官又ハ警察署長徵用セラルベキ者ニ出頭ヲ求ムル場合ハ別表様式第一號ニ依ル出頭要求書ヲ發シ其ノ者ニ之ヲ交付スベシ

第八條 徵用セラルベキ者出頭要求書ノ交付ヲ受ケタルトキハ出頭要求書ヲ携ヘ指定ノ日時及場所ニ出頭シ當該官吏ニ届出ツベシ

第九條 徵用令書、出頭變更令書、徵用取消令書、徵用變更令書及徵用解除令書ハ別表様式第二號ニ依ル第十條 徵用令書、出頭變更令書及徵用取消令書ハ警察署長又ハ市町村長（東京市、京都市、大阪市、名古屋市、横濱市及神戸市ニ在リテハ區長以下之ニ同ジ）若ハ之ニ準ズベキモノヲシテ徵用セラルベキ者又ハ被徵用者ニ之ヲ交付セシムベシ

第十一條 徵用セラルベキ者又ハ被徵用者徵用令書、出頭變更令書又ハ徵用取消令書ノ交付ヲ受ケタルトキハ該令書ニ添附シタル受領證ニ受領月日時ヲ記入シ捺印ノ上直ニ之ヲ返付スベシ

第十二條 徵用セラルベキ者又ハ被徵用者徵用令書又ハ出頭變更令書ヲ携ヘ指定ノ日時及場所ニ出頭シ當該官吏若ハ吏員又ハ防空計畫設定者若ハ工場事業場ノ當務者ニ届出ツベシ

第十三條 令第十一條第一項ノ規定ニ依ル届出ハ左ノ書類ヲ添附シ徵用令書ヲ發シタル地方長官ニ遲滞ナク之ヲ爲スベシ

一 傷痍疾病ニ因リ出頭シ難キ場合ニ在リテハ醫師ノ診斷書（已ムヲ得ザル事情ニ因リ醫師ノ診斷書ヲ得ルコト能ハザルトキハ警察官吏ノ證明書）

二 天災其ノ他避ク可カラザル事故ニ因リ出頭シ難キ場合ニ在リテハ其ノ地ノ市町村長若ハ之ニ準ズベキモノ又ハ警察官吏、船長若ハ驛長ノ證明書

第十四條 令第十六條第一項ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ發スル徵用變更命令又ハ徵用解除命令ハ被徵用者ガ指定ノ場所ニ出頭スル前ニ在リテハ徵用令書ヲ發シタル地方長官、被徵用者ガ指定ノ場所ニ出頭シタル場合ニ在リテハ出頭地ヲ管轄スル地方長官、被徵用者ガ總動員業務ニ従事スル場合ニ在リテハ就業ノ場所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ通達ス

第十五條 令第十六條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ發スル徵用變更令書又ハ徵用解除令書ハ被徵用者總動員業務ニ従事スル場合ニ於テハ其ノ者ヲ使用スル官衙ノ長、地方公共團體ノ長、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主ヲ經由シテ之ヲ交付スベシ

第十六條 前條ノ規定ハ令第十六條第三項ノ規定ニ依

リ厚生大臣ニ於テ徵用變更令書又ハ徵用解除令書ヲ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條 被徵用者徵用變更令書又ハ徵用解除令書ノ交付ヲ受ケタルトキハ該令書ニ添附シタル受領證ニ受領年月日時ヲ記入シ捺印ノ上直ニ之ヲ返付スベシ

第十八條 厚生大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ徵用ニ關シ徵用セラルベキ者又ハ其ノ者ヲ使用シ若ハ使用シタル者ヨリ報告ヲ徵スルコトヲ得

前項ノ報告ハ緊急ノ必要アル場合又ハ輕微ナル事項ニ付テハ警察署長之ヲ徵スルコトヲ得

第十九條 當該官吏令第二十三條第二項ノ規定ニ依リ臨檢スル場合ニハ別表様式第三號ノ證票ヲ携帶スベシ

第二十條 地方公共團體ノ長、防空計畫設定者又ハ工場事業場ノ事業主ハ當該地方公共團體、防空計畫設定者ノ事業若ハ施設又ハ工場事業場ニ使用スル被徵用者ニシテ死亡シタルモノアルトキハ遲滞ナク左ニ掲グル事項ヲ厚生大臣竝ニ徵用令書ヲ發シタル地方長官ニ報告スベシ

- 一 氏名、出生ノ年月日及本籍
- 二 徵用令書發付者、發付年月日及發付番號
- 三 死亡ノ年月日及事由
- 四 死亡ノ前後ノ處置竝ニ給與
- 五 遺族ノ住所

第二十一條 本令中地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ藥劑師又ハ看護婦ニ關シテハ警視總監トス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表) 様式第一號(用紙ハ白色トシ大サハ日本標準規格B6トス) (表面)

出頭要求書	出頭要求書	出頭要求書	出頭要求書
住居場所	住居場所	住居場所	住居場所
何府縣(北海道)何郡(市)(區)何町(村)大字何何番地	何府縣(北海道)何郡(市)(區)何町(村)大字何何番地	何府縣(北海道)何郡(市)(區)何町(村)大字何何番地	何府縣(北海道)何郡(市)(區)何町(村)大字何何番地
何年何月何日午後何時	何年何月何日午後何時	何年何月何日午後何時	何年何月何日午後何時
出頭スベキ日時	出頭スベキ日時	出頭スベキ日時	出頭スベキ日時
出頭スベキ場所	出頭スベキ場所	出頭スベキ場所	出頭スベキ場所
備考	備考	備考	備考
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日
何府縣知事 氏	警視總監 氏	北海道廳長 氏	警察署長 氏
名	名	名	名
印	印	印	印

(裏面)

出頭要求書ノ交付ヲ受ケタル者ノ心得

- 一 出頭要求書ノ交付ヲ受ケタル者ハ該要求書並ニ印章ヲ携ヘ指定ノ日時及場所ニ出頭シ當該官吏ニ届出ツベシ
- 二 出頭要求書ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ旅費ノ前金拂ヲ受クルニ非ザレバ出頭スルコト能ハザルモノハ居住地ノ市町村長又ハ之ニ準ズベキモノニ該要求書ヲ提示シテ之ガ一時繰替支辨ヲ請求スルコトヲ得但シ出頭スベキ場所方居住地ノ市町村ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

注意

市町村又ハ之ニ準ズベキモノ(以下市町村ト稱ス)ニ於テ旅費ノ一時繰替支辨ヲ爲シタルトキハ左ニ支辨ヲ爲シタル市町村名支辨ヲ爲シタル年月日及旅費金何圓何拾錢支辨濟ト記載證印シ本人ニ返付スベシ

(參照)

醫療關係者徵用令第十條 地方長官ハ徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アルトキハ徵用セラルベキ者ニ出頭ヲ求ムルコトヲ得

醫療關係者徵用令施行規則第六條 地方長官徵用ノ適否其ノ他ヲ判定スル爲必要アリト認ムルトキハ警察署長ヲシテ徵用セラルベキ者ニ出頭ヲ求メシムルコトヲ得

記載心得

一 就業ノ場所ハ二以上ノ就業ノ場所ヲ有スル者ハ主タル就業ノ場所ヲ記載シシ 就業ノ場所一定セザル者及就業ノ場所ヲ有セザル者ハ記載スルヲ要セザルモノトス

二 就業ノ場所及出頭スベキ場所ハ其ノ所在地及名稱ヲ詳細ニ記載スルモノトス

三 備考ハ地方長官又ハ警察署長ニ於テ必要ト認ムル事項ヲ記載スルモノトス

四 出頭要求書上端ノ右側ノ□ノ欄ニハ醫師、齒科醫師、藥劑師又ハ看護婦ノ別ヲ記入スルモノトス

五 文字ハ楷書ヲ以テ明瞭ニ記載スルモノトス

(裏面)

徵用令書ヲ受ケタル者ノ心得

- 一 徵用令書ノ交付ヲ受ケタル者ハ該令書ニ添附シタル受領證ニ受領年月日時ヲ記入シ捺印ノ上直ニ之ヲ返付スベシ
- 二 該官吏若ハ吏員又ハ防空計畫者ハ該令書ヲ携ヘ指定ノ日時及場所ニ出頭シ當該官吏ハ受ケタル者傷疾疾病ニ因リ指定ノ日時及場所ニ出頭シ難キ場合ニ在リテハ醫師ノ診斷書(已ムラ得ザル事情ニ因リ醫師ノ診斷書ヲ得ルコト能ハザルモノハ警察官吏ノ證明書)ヲ添ヘ該令書ヲ發シタル地方長官又ハ警察署長ニ遞滞ナク届出ツベシ
- 三 徵用令書ノ交付ヲ受ケタル者天災其ノ他避クベカラザル事故ニ因リ指定ノ日時及場所ニ出頭シ難キ場合ニ在リテハ其ノ地ノ市町村長(東京市、京都市、大阪市、名古屋、神戸、横濱、及神戶市ニ在リテハ區長)若ハ之ニ準ズベキモノ又ハ警察官吏、船長若ハ署長ノ證明書ヲ添ヘ該令書ヲ發シタル地方長官又ハ警察署長ニ遞滞ナク届出ツベシ
- 四 徵用令書ノ交付ヲ受ケタル者ニシテ旅費ノ前金拂ヲ受クルニ非ザレバ出頭スルコト能ハザルモノハ居住地ノ市町村長又ハ之ニ準ズベキモノニ該令書ヲ提示シテ之ガ一時繰替支辨ヲ請求スルコトヲ得但シ出頭スベキ場所方居住地ノ市町村ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

記載心得

一 就業ノ場所ハ二以上ノ就業ノ場所ヲ有スル者ハ主タル就業ノ場所ヲ記載シシ 就業ノ場所一定セザル者及就業ノ場所ヲ有セザル者ハ記載スルヲ要セズ

二 記載スルモノトス

三 軍機保護上ノ必要ニ依リ厚生大臣ノ指示アルトキハ從事スベキ總動員業務ヲ行フ官衙、地方公共團體防空計畫決定者又ハ工場事業場ノ名稱及所在地、從事スベキ總動員業務ノ内容及場所ハ之ヲ記載セザルモノトス

四 徵用令書上端右側ノ□ノ欄ニハ醫師、齒科醫師、藥劑師又ハ看護婦ノ別ヲ記入スルモノトス

五 文字ハ楷書ヲ以テ明瞭ニ記載スルモノトス

六 徵用令書ノ交付ヲ受ケタル者印章ヲ所持セザルトキハ花押又ハ拇印ヲ爲サシムルモ妨ゲナキモノトス

(備考)

別掲以外の様式各號を省略。又、本令公布に伴ひ同日官報を以て公布をみたる關係厚生省令を掲ぐれば次の如くである。

醫療關係者徵用令第十九條第五項ノ規定ニ依ル徵用セラレベキ者ノ出頭旅費規則(厚生省令第六十號)
 醫療關係者徵用令第十九條第五項ノ規定ニ依ル徵用セラレベキ者ノ出頭旅費支辨方ニ關スル件(厚生省令第六十一號)

醫療關係者徵用令ニ依リ地方公共團體、防空計畫設定者又ハ工場事業場ニ徵用セラレタル者ノ旅費ニ關スル件(厚生省令第六十二號)
 醫療關係者徵用ニ關スル事務ヲ執行スル爲要スル費用支辨方ニ關スル件(厚生省令第六十三號)

**勞働者年金保險法の一部施行期日の件
 竝に同法施行令及び施行規則の公布**

茲に公布を見たる勞働者年金保險法については既に

本誌第二卷第四號本欄所報の如くであるが、その一部は昭和十七年一月一日より施行せらるることとなつた。右一部施行期日の件に關する勅令竝に之に伴ひ同じく昭和十六年十二月二十九日付官報を以て公布を見たる同法施行令及び施行規則を掲ぐれば以下の如くである。

勞働者年金保險法ノ一部施行期日ノ件

(昭和十六年十二月六日
 勅令第六十二號)

勞働者年金保險法ハ保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ニ第七十六條ノ規定ヲ除クノ外昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

勞働者年金保險法施行令

(昭和十六年十二月十七日
 勅令第六十三號)

第一章 總則

第一條 勞働者年金保險法第三條第一項ノ賃金又ハ給

料ニ準ズベキモノノ範圍ハ常時又ハ定期ニ受クル給與其ノ他ノ利益トス但シ左ニ掲グルモノヲ除ク
 一 三月ヲ超ユル期間毎ニ支給スル賞與又ハ手當
 二 通勤手當
 三 住居ニ關スル利益又ハ住宅料ニシテ賃金又ハ給料ノ額ノ決定ニ影響ナキモノ
 四 其ノ他厚生大臣ノ指定スルモノ

第二條 賃金又ハ給料ニ準ズベキモノノ全部又ハ一部ガ金錢以外ノ給與其ノ他ノ利益ナル場合ニ於テハ其ノ價額ハ健康保險法施行令第二條ノ規定ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ノ定ムル標準價額ニ依リ之ヲ算定ス但シ健康保險ノ被保險者タル被保險者ニ關シテハ同令同條ノ規定ニ依リ算定セラレタル價額ニ依ル

第三條 勞働者年金保險法第四條第一項ノ標準報酬ハ被保險者ノ報酬月額ニ基キ左ノ區別ニ依リ之ヲ定ム

標準報酬ノ等級	標準報酬		報酬月額
	年額	月額	
第一級	百二十圓	十圓	十五圓未滿
第二級	二百四十圓	二十圓	十五圓以上二十五圓未滿
第三級	三百六十圓	三十圓	二十五圓以上三十五圓未滿
第四級	四百八十圓	四十圓	三十五圓以上四十五圓未滿
第五級	六百圓	五十圓	四十五圓以上五十五圓未滿
第六級	七百二十圓	六十圓	五十五圓以上六十五圓未滿
第七級	八百四十圓	七十圓	六十五圓以上七十五圓未滿

第八級	九百六十圓	八十圓	七十五圓以上八十五圓未滿
第九級	千八十圓	九十圓	八十五圓以上九十五圓未滿
第十級	千二百圓	百圓	九十五圓以上百十五圓未滿
第十一級	千三百二十圓	百十圓	百十五圓以上百二十五圓未滿
第十二級	千四百四十圓	百二十圓	百二十五圓以上百三十五圓未滿
第十三級	千五百六十圓	百三十圓	百三十五圓以上百四十五圓未滿
第十四級	千六百八十圓	百四十圓	百四十五圓以上百五十五圓未滿
第十五級	千八百圓	百五十圓	百四十五圓以上